

最新情報

1) ((重要)) Ver7.1.1 Updater が WEB に Upload されました

Meta Imaging Series7.1 の最新アップデートファイルが WEB にアップロードされました。新たなサポートや、機能の強化が図られております。

- ・DCAM API January 2007(浜松ホトニクス)を新たにサポートしました。
EmagEM 等の最新機種に対応したドライバです。
- ・Olympus Microscope エミュレーションモードが使用可能になりました。
- ・Open(<File Menu)より Multi-Image を直接選択することが可能になりました。
.nd .seq などの多次元データセットをそのまま Stack ファイルとして展開できます。

その他の詳細については v7.1.1Update の Web ページでご確認いただけます。

Ver7.1 リリース後、初めてのアップデートとなりますので、非常に重要なアップデート項目が含まれております。さらに以下の製品の操作についてはアップデート後、さらに修正ファイルが必要ですのでご留意頂き、弊社営業担当までご相談下さい。

対象機器	症状	修正用ファイル
BioPoint	Filter Wheel が 1 つしか制御できない	uic_d_Ludl.dll
CSU22	Configure Illumination で設定中にシャットダウンする	uic_d_Yokogawa.dll

アップデートについては、下記 Web ページよりアップデート方法、アップデートファイル、アップデート用コードを取得することが可能です。

<アップデート方法>

<http://support.meta.moleculardevices.com/install/index.php>

<アップデートファイルの取得>

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/>

<コード取得>

<http://www.meta.moleculardevices.com/authorize/>

2) 新製品 Cascadell:1024 (Photometrics 社製) ~ メガピクセル EM-CCD

Photometrics社より、EMCCDタイプのCascadell:1024が発売されました。

これまで好評でした512タイプよりも空間分解能もよく、またイメージング範囲も広がります。512タイプでは、空間分解能が不足する、イメージングエリアを広くしたいという方にお勧めです。

MetaImagingSeriesVersion7では、近日中の対応を予定しております(本SalesNote発行時点では未対応です)。尚、詳細な情報等は、サポートされ次第SalesNoteで報告致します。

<主な特徴>

背面照射型EMCCD(>90%peakQE)
 素子数 : 1024x1024
 素子サイズ : 13 μm x 13 μm
 転送速度 : 10MHz, 5MHz, 1MHz
 冷却温度 : -60°C
 インターフェース : PCI

<主なアプリケーション>

一分子蛍光、細胞内観察、微弱光
 TIRF、Widefield Confocal顕微鏡等



3) 新製品 ガス混合装置、MultiWellChamber、Multi-hole bottom plate ~ Chamlide シリーズ

①Chamlide FC-5 : インキュベータ用ガス混合装置

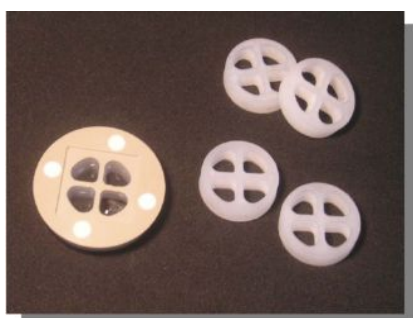


100% CO₂ガスから0~15% CO₂-Airガスを供給できるガス混合装置です。

定価¥900,000-(税抜き)

※詳細カタログあります。

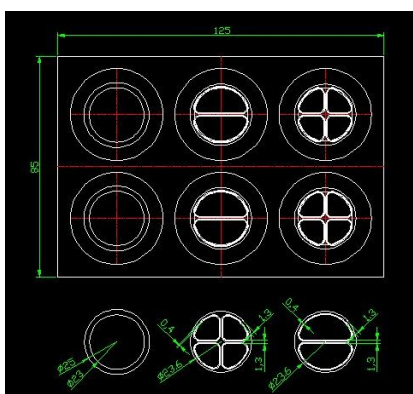
②4-Well chamber : 4分割タイプのマグネチックチャンバ(2分割タイプもあります)



好評のマグネチックチャンバの分割タイプ。
1つのマグネチックチャンバを2分割、4分割のプレートとしてご利用いただけます。

また、Multi-hole bottom plate(下③)とあわせて使用することでさまざまなレイアウト設定が可能になります。

③Multi-hole bottom plate : プレートサイズの25mmディッシュ用ホルダ



25mmディッシュ用にプレートサイズの6穴ホルダをご用意いたしました。マグネチックチャンバや25mmディッシュ6個を設置できます。

レイアウト例

- ・6穴のプレート
25mm ディッシュ又は、マグネチックチャンバを使用
- ・12 (2X6) 穴のプレート
2分割のマグネチックチャンバを使用
- ・24 (4X6) 穴のプレート
4分割のマグネチックチャンバを使用

↑
Multi-hole bottom plate と
各種マグネチックチャンバとのレイアウト例

<用途例>

- ・Chamlide-WP (WellPlate 用培養装置; 右写真) に設置してさまざまな Live Cell Imaging に
- ・各種顕微鏡メーカーのプレートホルダにも使用できるので、ディッシュのホルダーとして



Chamlide シリーズの総合カタログをご用意しております。弊社、営業担当までお問い合わせ下さい。

- 4) IX81-ZDC での Live 表示及び、Stack ファイルの再生表示速度が遅くなる問題について(Ver7.1.1~)
- 現在 ZDC を使用したシステムにおいて Live、Stack ファイルの表示・再生速度がおそくなるという報告を頂いております。この問題に対して現状での回避方法を紹介いたします。

原因)

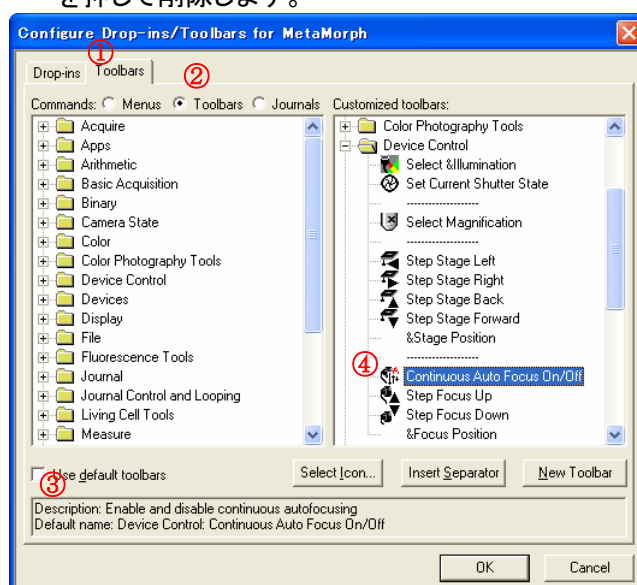
ツールバーに Continuous Auto Focus On/Off ボタンがある



回避方法)

Continuous Auto Focus On/Off ボタンを非表示にする

- 1) Meta Imaging Series Administrator で Drop-ins / Toolbars の設定画面(下図)に入る。
- 2) Toolbars タブ①で Toolbars②を選択、下の Use Default Toolbars③のチェックを外して Device Control>Continuous Auto Focus On/Off④を Delete キーを押して削除します。



Continuous Auto Focus On/Off ボタンが非表示の状態 ↓



- 5) AxiolImager(Carl Zeiss)での Z 制御について (Version7.1.1~)

AxiolImagerの制御についてはCarl Zeissからリリースされている開発キット(SDK)が日本語OSに未対応のため日本語Windowsご使用の場合、Z軸制御ができなくなります。

AxiolImager用SDK内の一部ファイルの内容変更しますと動作させることができますので、ご対応の際には、弊社営業担当まで変更内容についてお問い合わせ下さい。

MetaMorph Journal 紹介

WellPlate を使用してに各 Well へ移動する際に不自由に思われたことはないでしょうか？

ここで紹介する Journal は、簡単に任意の Well へ移動することが可能で、電動ステージをより効果的に使用できます。

<システム構成>

MetaMorph + XY 電動ステージ

①Well 用電動ステージを用いて 96well Plate の各 Well へ移動する(Ver7.1.1~)

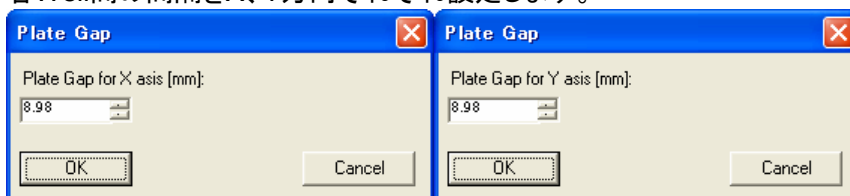
<使用する Journal>

- ・WellPlateSetup.JNL 原点 (A01) と各 Well 間の距離を設定します。
- ・WellPlate.JNL 各 Well へ移動する指示を出します。

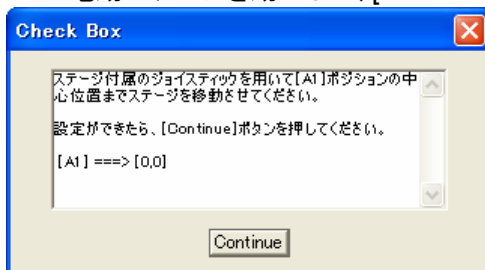
- 1) WellPlateSetup.JNL を実行します。
ここでは、Taskbar を作成しています。



- 2) 各 Well 間の間隔を X、Y 方向それぞれ設定します。



- 3) 原点 (A1) を設定します。
A1 に電動ステージを動かして、[Continue] ボタンをクリックします。

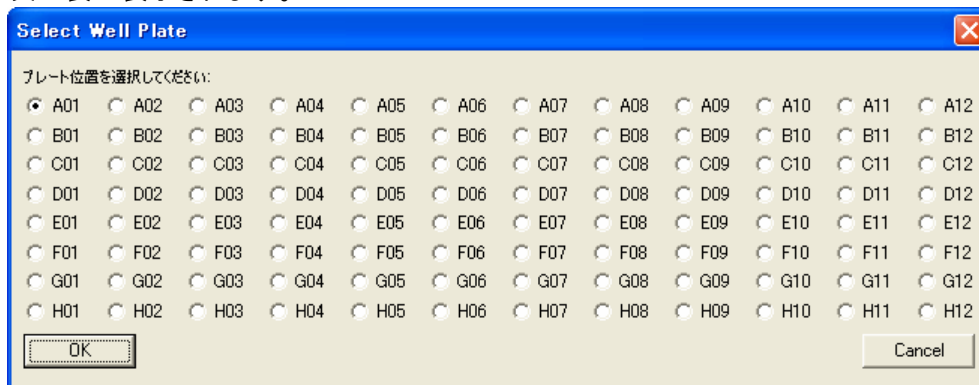


A1 の座標が (0,0) に設定されます。準備完了です。

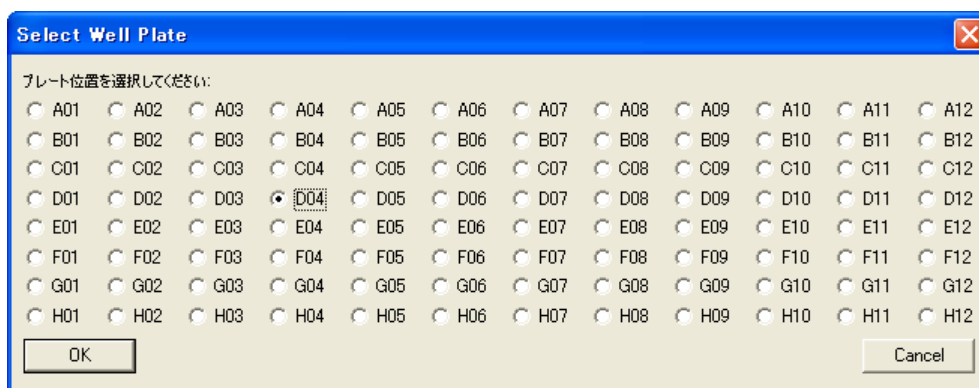
- 4) WellPlate.JNL を実行します。



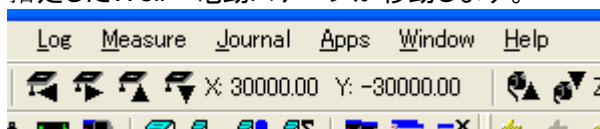
次の表が表示されます。



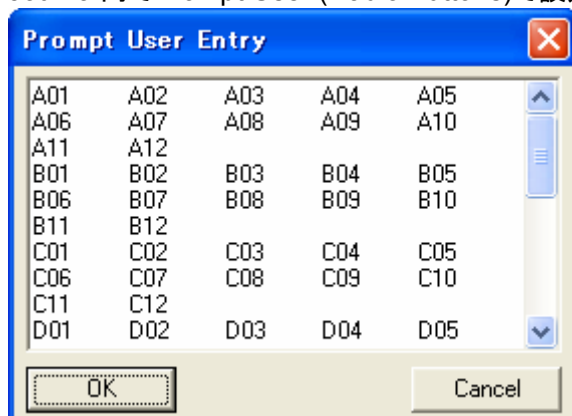
5) 移動したいWellのラジオボタンを選択して[OK]ボタンをクリックします。



指定したWellへ電動ステージが移動します。



Point! 4) 5) のようにMetaMorphVer7.1では、ラジオボタンが2次元に配置できるようになりました。Journal内でPrompt User (Radio Buttons)で設定しております。



右方向 [Cntrl]+[Tab]

下方向 [Cntrl]+[Enter]

② 96穴ウェルプレート画像取得後に作成したモンタージュ画像を用いてステージ位置を移動させる方法(Ver7.1.1～)

96穴ウェルプレートで取得した画像を元にそのイメージ像から、そのウェルへステージを移動することができます。

<使用する Journal>

・WellPlateSetup.JNL

・WellPlate Stage Move by the Image Region.JNL

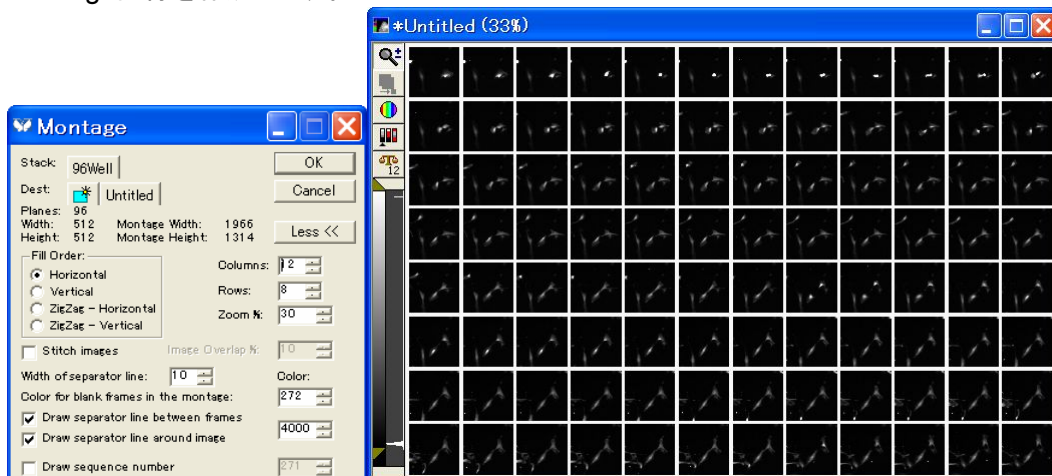
原点(A01)と各 Well 間の距離を設定

イメージ像から各Wellへ移動する指示

1) 画像を取得します。

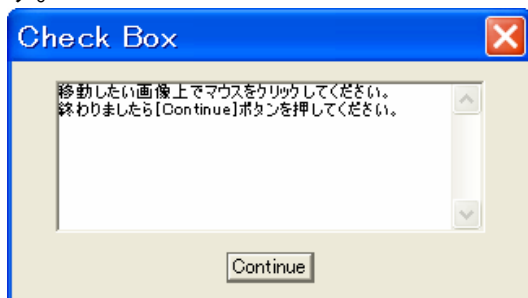


2) Montage画像を作成します。



3) WellPlate Stage Move by the Image Region.JNLを起動します。

4) Check Boxが表示されたら、移動したい画像上でマウスをクリックし、[Continue]ボタンを押します。



5) ステージが希望のウェルプレート位置に移動しますので、必要に応じてライブ画像取得などの操作を行います。